

第5次企業局経営5か年計画

令和4年度～令和8年度



はじめに

企業局では、水道用水供給事業、工業用水道事業及び地域整備事業の3つの事業を経営していますが、それぞれが今大きな課題に直面しています。

水道用水供給事業については、節水技術や人々の節水意識の向上に加え、今後は人口減少が進むことから、水需要の減少は不可避のものとなっています。

工業用水道事業についても、給水区域の住宅化に伴い工場からマンションへの転換が進む中で、工業用水の利用が減少しています。

一方で、両事業ともに施設・設備の老朽化対策、大規模災害に備えるための危機管理体制の強化は、待ったなしの状況にあります。

地域整備事業については、コロナ禍においても、高速道路網整備が進み県内産業用地の需要は底堅いものの、消費低迷により県内経済の先行きが不透明な中、こうした状況がいつまでも続くとは考えられません。

このように経営を取り巻く環境がより一層厳しさを増す中で、今後も健全経営を維持し、経営基盤を強化していくため、第5次企業局経営5か年計画を策定しました。

本計画では、計画全体を貫く経営の基本方針を「事業の選択と経営資源の集中」「地域社会への貢献や環境負荷の低減」「持続可能な経営基盤の確立」とし、この基本方針の下、事業ごとに経営目標を定め、この目標を達成すべく経営状況の分析や将来の事業環境の把握を行いました。

これらの分析結果を踏まえ、施策の方向性と具体的な数値目標を定めました。

目標達成のため、需要に見合った水道施設・設備のダウンサイジング、災害に備えた水道施設の機能拡張に取り組むとともに、知事部局で進める「あと数マイルプロジェクト」などと連携し、高規格道路周辺の産業団地整備などに取り組むこととしています。

また、県5か年計画で掲げる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けて、基本姿勢に掲げるSDGsを推進するとともに、ポストコロナを見据えつつ、業務のデジタル化を推進していきます。

企業局といたしましては、こうした時代の大きな変化を、人材、施設や設備、資金、ノウハウといった企業局の持つ経営資源を総動員して乗り越え、県民生活の安全・安心の確保や県内産業の振興といった企業局に与えられた使命をしっかりと果たしてまいります。

令和4年2月

埼玉県公営企業管理者 北島 通次



目 次

第1章 経営計画策定の趣旨	1
1 目的	1
2 計画の位置付け	1
3 計画期間	1
第2章 これまでの経営改革	2
1 水道用水供給事業	2
2 工業用水道事業	6
3 地域整備事業	10
4 職員定数	13
第3章 経営の基本方針	14
経営の3本柱	14
第4章 事業計画	16
1 事業計画の構成	16
2 水道用水供給事業	17
3 工業用水道事業	55
4 地域整備事業	83
第5章 計画を着実に実行する仕組み	102
1 マネジメントサイクル	102
2 予算との連動	102
3 外部評価の実施	102
4 人材開発	102
資料編	103
1 投資・財政計画	104
2 事業の廃止・撤退	109
3 用語解説	111